

御堂筋に関する課題及び意見と提言

地元住民との意見交換会（平成20年度 大阪国道事務所実施）

1. 開催目的

御堂筋の歩行者交通に関する課題について意見交換を実施

2. 開催時期

愛日・船場地区：平成20年11月18日（合同開催）

久宝地区：平成20年 2月27日

芦池地区：平成20年 3月 6日

御津地区：平成20年10月16日

精華地区：平成20年10月 6日

3. 主な課題

- ・安全な歩行空間や自転車走行空間が確保されていない。
- ・自転車と歩行者が錯綜して危険である。
- ・駐輪可能な場所が少なく放置自転車が多い。
- ・放置自転車により御堂筋の景観が低下している。
- ・自転車利用者の走行マナーが悪い。

4. 主な意見

- ・自転車道整備による**歩行者と自転車の分離**について実施すべき。
- ・放置自転車対策として、**駐輪場の整備**が必要。
- ・駐輪対策は、御堂筋だけでなく、その他の**周辺道路を含めた面的な整備**が必要。
- ・自転車利用者の**マナー向上、ルールの徹底**が必要。
そのために、**取締りや啓蒙活動を強化**してほしい。
- ・自転車の**総量規制、駐輪場設置附置義務の台数増加**をしてほしい。



◆長堀21世紀計画の会

【提言】御堂筋「みち」の再生計画（2009年10月2日）

＜御堂筋の課題＞

1. 歩きにくい歩道
放置自転車、歩道を走る危険な自転車、休日の歩道の混雑
2. 目にあまる違法駐車
側道の駐車場化、慢性的な渋滞、駐車違反バイクの増加
3. ゆとりやうるおいの不足
休憩スペースや交流スペースが少ない

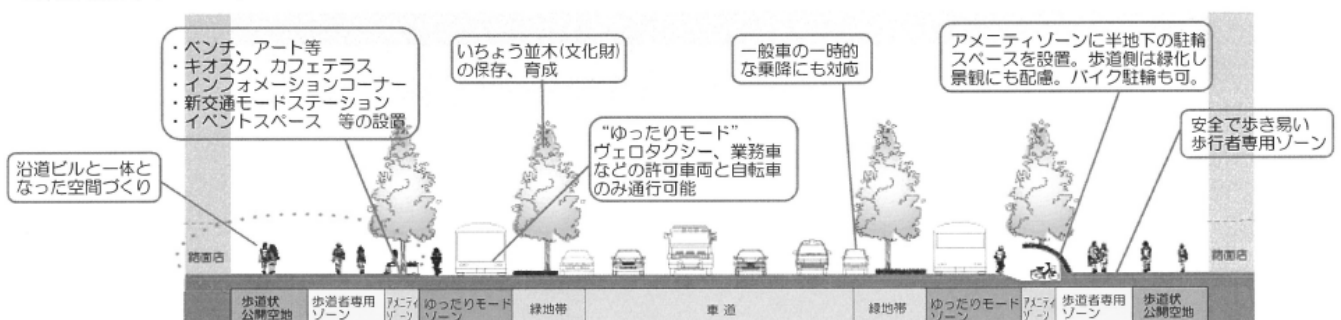
＜再生の方針＞

1. 御堂筋らしい「みち」の再発見
2. 安全に歩ける人が主役の「みち」の整備
3. 歩いて楽しい魅力的な「みち」空間の創出
4. 放置自転車のない快適な「みち」づくり
5. 車に便利な道から、車はゆっくり安全な「みち」へ
6. 災害に強い「みち」づくり

＜提案の概要＞

1. 柔軟なまちづくりを可能とする「みち」特区の制定と取り締まりの強化
2. 公開空地や歩道上でのイベント開催、カフェテリア設置、乗降用キャノピーの建物からはね出し設置など“道路空間の運用の自由化”
3. 不法駐輪取り締まりへの“民間組織の活用”
4. 光のイルミネーションや植栽、緑の演出などの“環境整備への取り組み強化”

図 横断面構成イメージ



◆御堂筋まちづくりネットワーク

【提言】『御堂筋 STYLE 創生』緑陰とにぎわいの街路づくり（2004年6月）

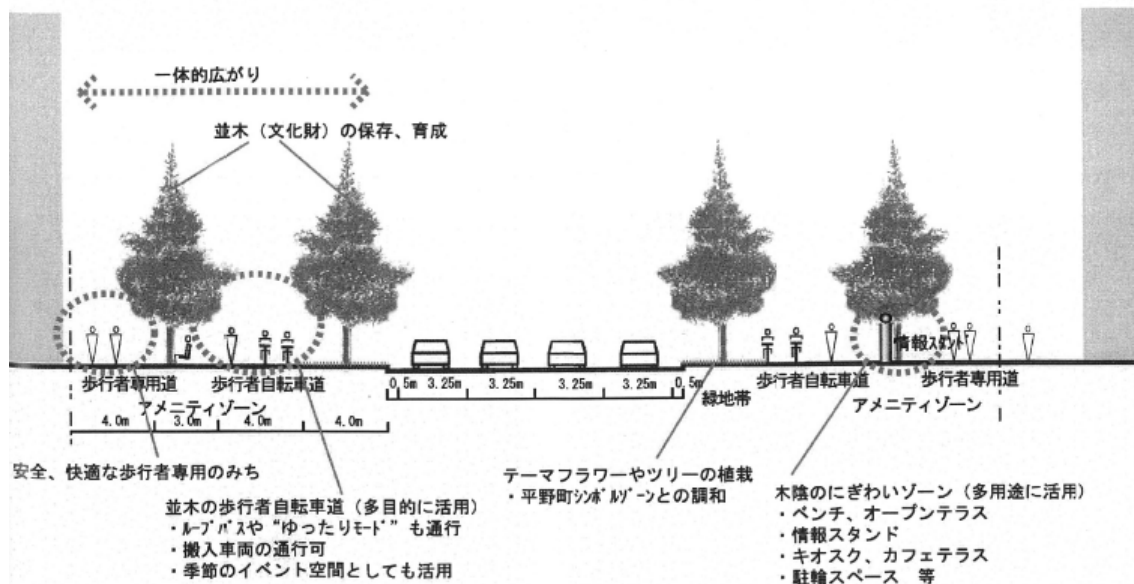
<御堂筋の課題>

1. 路上駐輪問題（自転車・バイク）
2. 歩行者と自転車の交錯
3. 憩うスペースがない（ベンチ、ポケットパークがない）

<提案の概要>

1. 断面構成を再構築する
 - ・側道を歩行者自転車道に変更する（現歩道は歩行者専用道に）
 - ・建物側の並木部分をアメニティゾーンとする
 - ・歩行者専用道、アメニティゾーン及び歩行者自転車道は、多様な使用状況を想定し、路面に段差を設けず一体的に整備する
2. フレキシブルな活用を可能とする
 - ・歩行者自転車道の運用はフレキシブルにおこなう
 - ・アメニティゾーンは街路環境の向上に寄与する多様な施設の整備を進める
3. 御堂筋の資産を活用、継承する
 - ・銀杏並木
 - ・彫刻
 - ・歴史

図 横断面構成イメージ



◆（社）関西経済同友会

【提言】「水の路づくり」構想～琵琶湖めぐみを受けて～（2009年3月）
（「水都・大阪」近未来へのビジョン（平成19年12月提言）の実現に向けて）

<御堂筋の課題>

1. 自動車利用による課題
 - ・違法駐車
 - ・運転マナー
2. 自転車利用の増加による課題
 - ・不法駐輪による歩道の通行障害
 - ・街の美観の劣化
 - ・マナーやルールを守らない運転による事故、怪我危険の問題が多発

<提案の概要>

1. 公共交通機関へのシフトと自転車、歩行者中心のゆとりのある街並みをつくる
2. 大型民間投資の継続
3. 文化イベント等が継続する
4. ヒートアイランド対策として「水の路」を導入する
5. 新しい街づくりの基準の導入

<「水の路」の概要>

- ① 市域に「水の路」を縦横にめぐらせ、市民や観光客が身近に水と親しめる環境を創り出し、世界に誇れる「水都大阪」を復活させる。
- ② 御堂筋の既存側道の駐車帯を水の路とする。
- ③ 各施設に水を引きこみ、公開空地に水のオブジェを設けたり、カフェテラスなどの寛ぎの場を提供し、より水に近い親水の大阪をつくる。

